

7 資料集

7.1 沿革

明治29(1896)年10月	CRL	通信省電気試験所において無線電信の研究を開始
大正4(1915)年1月	CRL	通信省電気試験所平磯出張所を設立
昭和10(1935)年5月	CRL	無線機器の型式検定業務を開始
昭和15(1940)年1月	CRL	標準電波(JJY)発射業務を開始(検見川)
昭和23(1948)年6月	CRL	文部省電波物理研究所を統合
昭和27(1952)年8月	CRL	郵政省電波研究所の発足
昭和39(1964)年5月	CRL	鹿島支所を開設(直径30mパラボラアンテナ施設を完成)
昭和54(1979)年8月	TAO	通信・放送衛星機構を設立
昭和57(1982)年8月	TAO	君津衛星管制センターを開所
昭和63(1988)年4月	CRL	電波研究所を通信総合研究所に名称変更(郵政省通信総合研究所)
平成元(1989)年5月	CRL	関西支所の発足、鹿島支所と平磯支所を統合した関東支所の発足
平成2(1990)年10月	TAO	特定通信・放送開発事業への支援を開始
平成4(1992)年10月	TAO	通信・放送機構に名称変更高度通信・放送研究開発を開始
平成9(1997)年7月	CRL	横須賀無線通信研究センターの発足
平成12(2000)年7月	CRL	けいはんな情報通信融合研究センターの開設
平成13(2001)年1月	CRL	郵政省が総務省に再編(総務省通信総合研究所)
平成13(2001)年4月	CRL	独立行政法人通信総合研究所の発足
平成13(2001)年7月	TAO	民間基盤技術研究促進業務を開始
平成14(2002)年3月	TAO	衛星管制業務を終了
平成14(2002)年8月	CRL	アジア研究連携センターの開設
平成15(2003)年4月	TAO	基盤技術研究促進センターの業務の一部を承継
平成16(2004)年4月		旧通信総合研究所と旧通信・放送機構が統合し、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)として発足
平成24(2012)年4月		耐災害ICT研究センターの開設
平成25(2013)年4月		脳情報通信融合研究センターの開設

CRL：旧通信総合研究所 TAO：旧通信・放送機構